

オオクグ

Carex rugulosa Kükenth.

カヤツリグサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

県内の分布はごく限られ、今回の調査で得られた近年の確認情報は舩倉島および志賀町の2ヶ所のみである。(現況:R-)

形態

花序や小穂はシオクグやコウボウシバに似るが、より大型で高さ40~70cm、葉は幅広く5~10mm、雌小穂は2~4個で長さ3~5cm。

国内分布

北海道、本州、九州(北部)。

県内分布

舩倉島、中能登区(志賀町、七尾市机島)。

生態など

多年草。花期は4~5月。果実は6月頃熟す。

生育環境

海岸の塩性湿地や湿草原。

危険要因

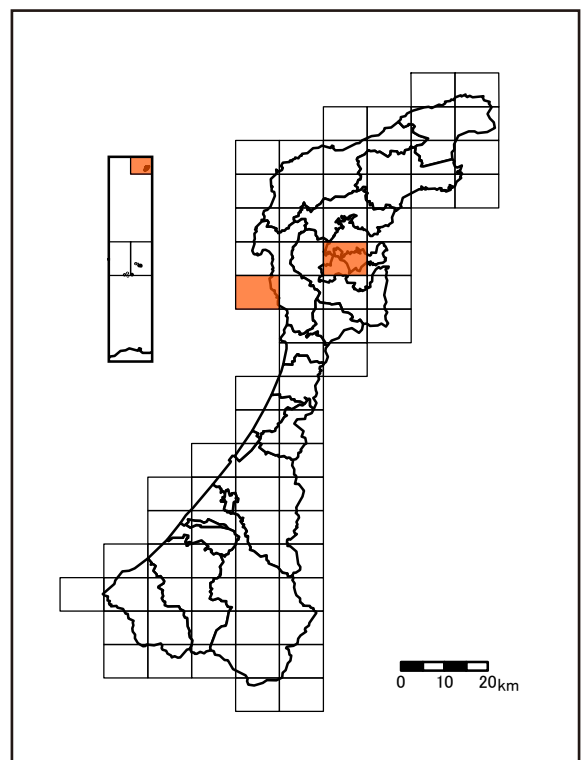
海岸開発、土地造成、道路工事、産地局限。舩倉島では、最近行われた津波避難用道路の建設工事に伴い、群落の主要部分が埋め立てられ大部分が消失した。

特記事項

生育地の一部は能登半島国定公園内にある。なお、上記の舩倉島の自生地は特定植物群落「舩倉島のアカネムグラ」(個体群)にも含まれている。



小野ふみゑ・2006年5月27日・舩倉島



県内の分布